

平成25年11月24日
今週のベストショット



青松園A 塩浜ジャガーズ 対 奈多サンデーズ戦

11勝1敗1分の成績で平成25年度WSLを制した奈多サンデーズ！歓喜の田中孝幹監督の胸上げ。

記事、写真：三苦フレンズ 肥喜里一征

青松園A 奈多サンデーズが2年ぶり13回目の優勝を手に入れた！

塩浜ジャガーズ（5勝5敗3分）00000 0 内田●ー堀内

奈多サンデーズ（11勝1敗1分）0914× 14 江口○ー荒口

HR：荒口、秋山（奈多サ） 2BH：秋山、野田（奈多サ） 盗塁：野田（奈多サ）

奈多サンデーズが勝てば優勝のこの一戦。どんな試合結果になるのか？

11月も終わりのこの時期、まだ薄暗い早朝の影響もあり、選手の怪我を考慮して予定よりも10分遅れてプレイボール。初回、塩浜ジャガーズの攻撃は、先頭打者がボールを見極め出塁するが、後続の3人が連続外野フライに打ち取られ無得点。その裏、奈多サンデーズも四球をからめ二死一二塁とチャンスを掴むが、こちらも外野フライに打ち取られ、両チーム無得点スタート。しかし、試合が動いたのは二回裏のサンデーズの攻撃。ピッチャーの江口投手が自ら左翼へのヒットで出塁をすると、相手失策も絡み2得点を先制。続く三番の秋山選手が左翼へのタイムリーツーベース。そこから4連打すると、荒口選手の満塁本塁打が飛び出し、この回、一挙に9点を奪った。ここで勝利はほぼ決まったかに思えたが、三回表のジャガーズは何とか喰らいつこう！塁を奪い取ろう！と必死にセフティーバントや送りバントで崩しにかかるが、サンデーズの固い守備をなかなか崩すことはできない。その裏の守備でも三四球を与える等、精細を欠き1点を献上してしまった。続く四回裏も野田選手のタ

イムリーツーベースや秋山選手のスリーランが飛び出し、優勝を確実なものに…！最終回となる五回、江口投手が最後の打者をセンターフライに抑えゲームセット。

ここで、奈多サンデーズの2年ぶり13回目の優勝が決定。しかも、江口投手のノーヒットノーランの達成。試合終了後は、全員マウンドへ集まり、田中監督を胴上げ。最後は王者らしく、完璧な試合運びで一年間の試合日程を締めくくった。おめでとうございます。奈多サンデーズ！！(記事、写真：三苦フレンズ 肥喜里一征)



一回表、久々先発の奈多サンデーズ江口投手。



塩浜ジャガーズ先発の内田投手。



二回裏、先制の2点タイムリーを放つ三番秋山選手。



5点目となるタイムリーを放つサンデーズ四番大沼選手。



完璧にとらえた満塁本塁打が飛び出したサンデーズ荒口選手。リードも光った。



三回表、大量得点を奪われても必死に1点を取り返そうとセフティーバントで出塁を試みるジャガーズ松下選手。



素早い動きでバンド処理をこなすサンデーズ荒口捕手。



内野のオールラウンダー土田選手。



しっかりとボールを見て打席に立つサンデーズ木下選手。



レフトへのヒットを放つサンデーズ土田選手。



送りバントをしっかりと決めたサンデーズ野田選手。



四回裏、スリーランを放った新戦力の三番秋山選手。



優勝して田中孝幹監督の胴上げ！



ノーヒットー江口投手(中)、HRの秋山(左)、荒口選手(右)。

奈多グラウンド① 四死球の差が勝負の分かれ目に！

レッドサンデーズ（3勝7敗1分）00110 2 土師●、嶋村、田中一前田

新町ウインズ（7勝4敗1分）14014× 10× 藤田○ー今林

3BH：八田（新町ウ） 2BH：稲又（レッド）今林（新町ウ） 盗塁：安藤（一）（新町ウ）

先攻のレッドサンデーズは初回、ピリッとしなない新町ウインズ先発藤田投手から2つの四球と5番八島選手のレフト前で二死満塁のチャンスを得る。しかし、後続の折居選手がサードゴロに打ち取られ絶好の先制機を逃してしまう。逆にウインズは、二回までにシングルヒット1本ながらも、四球、PB、WPとレッドのミス突き確実に加点し5点をもぎ取る。その後、ウインズ藤田投手は2点を失うものの、レッド打線を散発3安打に抑え込み完投勝利。一方のレッドは、土師、嶋村、田中と3人の継投でウインズ打線を4安打に抑えるも、10個の与四死球で自滅した形となった。また初回到得点できなかったのも痛手であった。（記事：三苦三球会 小倉圭太 写真：中村 元）



一回表、八島選手のレフト前でチャンスを広げるも無得点。



一回裏、二死から三番今林選手がヒットで出塁。



バッテリミス突き、今林選手先制のホームイン。



三回表、泉二塁手倒れ込みながら送球。見事にアウト！



四回裏、二盗後、今林選手の打球を見て快足を飛ばすウインズ安藤選手。



五回裏、ウインズ八田選手の打球は快音を残しレフトへ。



八田選手の打球はレフトの頭上を大きく越える三塁打！



五回裏、ウインズ二番安藤選手のセンター前ヒット。



要所を締めるピッチングで見事勝利したウインズ藤田投手。



二番手として3イニングを投げたレッド嶋村投手。

奈多グラウンド② 終盤、奈多クラブ得意の一気に逆転！三球会踏ん張りきれず・・・。

奈多クラブ（8勝1敗3分）000040 4 今林（瑠）○—安河内

三苫三球会（5勝8敗0分）200100 3 吉留●—山崎

3BH：今林（祐）（奈多ク） 2BH：安河内（奈多ク）

2試合目のスタートとなったこの試合。三球会の一回裏の攻撃で試合が早速動く。走者一二塁の場面で六番右山選手のライト前で2点を先取した。また投げては、三球会の吉留投手の好投により、相手に点を与えず。一方、奈多クラブ今林瑠生投手もその後、速球にて三球会打者を抑える。しかし、四回裏の三球会の攻撃の時に事件が起きた！ランナー二三塁、二番塚選手のセカンドゴロの際、二塁ランナーと遊撃手が交錯し、一時試合がストップ。これは走塁妨害！？守備妨害！？と騒然となったが、インプレーとの判断で、守備妨害でも走塁妨害でもない判断。しかし、この際三塁ランナーがホームインし、三球会が1点追加し0-3とリード。3点差をつけられた五回表の奈多クラブはここから打者一巡の反撃開始。一死走者一三塁の場面で、一番今林祐将選手が一塁線を抜く強烈な三塁打で2点、続く二番今林賢人選手の犠牲フライで1点、三番今林瑠生選手のヒットや、四番安河内選手の左中間二塁打などで二三塁とすると、ワイルドピッチにて1点追加し、この回一挙に4得点で逆転に成功。試合はそのまま両者得点をゆずらず、4-3で奈多クラブの勝利。3点は許したものの、奈多クラブの今林瑠生投手は終わってみれば、10奪三振と見事なピッチングだった。

（記事、写真：レッドサンデーズ 前田篤史、写真：八島久徳）



三球会先発の吉留投手。



奈多クラブ先発の今林瑠生投手。



ファールフライに飛び込む今林祐将一塁手。



ショートフライを思わず落球。



「フライはこうやって取るったい！」



センター前に弾き返す三球会四番の小倉選手。



難しいバントを決める三球会五番の堺達也選手。



三人の間にポトリ。



走塁妨害？守備妨害？判定は・・・インプレーで続行。



一塁線を抜くタイムリー三塁打の今林祐将選手。



二人が返って、1点差に！



同点の犠牲フライを放つ奈多クラブ二番今林賢人選手。



ポテンヒット性の打球をナイスキャッチ！濱口中堅守。



レフトへあわやHRの打球を放つ今林瑠生選手だが・・・。



一塁を踏み忘れて戻り、結局シングルヒットに。



逆転へのヘッドスライディングは・・・セーフ！！

青松園B 新町パイレーツ好調吉田投手を打ち崩したのは、リーグベテラン選手の一打！！
投げては、2安打10三振の完投 今林勇太投手！！

新町パイレーツ (6勝4敗1分) 00010 1 吉田●-桐島

奈多フェニックス (7勝2敗3分) 0320x 5 今林(勇)○-実延(新)

3BH : 実延(新)、太田(奈多フ) **2BH** : 今林(勇)(奈多フ) **盗塁** : 牟田、升井(新町パ)

肌寒さの中、薄暗い中試合開始。一回表新町パイレーツは、果敢に出塁を試みるバンド攻撃が一番、二番連続三振で後続も倒れフェニックス今林勇太投手に抑えられる。一回裏奈多フェニックスは、三番今林勇太選手のレフト前二塁打が飛び出す、好調吉田投手に抑えられる。二回裏フェニックスは、三者凡退かと思われたが、七番実延新伍選手がレフトオーバー三塁打で先制のチャンスを作ると、続く今林心一選手が四球を選び一三塁として、続くフェニックスのベテラン太田選手が技ありレフト線三塁打を放ち、吉田投手から先制の2点タイムリー。更にWPにて三点目が入る。三回表パイレーツも反撃に移りたいが、フェニックス今林勇太投手から一回に続く二者連続三振！！この日も三者凡退に抑えられる。三回裏フェニックスは、二番高原選手のショート内野安打から三番今林勇太選手の本日2本目のヒットからエラーによる貴重な2点目を追加し、自らピッチングに花をそえる。このままでは終われない、パイレーツ打線は、三回までノーヒットに抑えられていたが四回表、先頭の二番升井選手のセンターヘチーム初ヒットがでて反撃に向かうと、すぐさま盗塁に成功し四番白岩選手もセンター前にはじき返し、エラーも重なり升井選手がホームイン！しかし反撃もここまで、後続が倒れ追加点ならず。五回表パイレーツ最終回の攻撃は、意地を見せたいところであったが今林勇太投手が最後の打者桐島選手を本日10奪三振目と圧巻のピッチングにてゲームセット！！両エースの投げ合いかと予測された試合とともに、近年は若手の成長がクローズUPされていましたが本日は、リーグベテラン選手の技ありのバッティングが勝負への執念を感じさせてもらった試合でした。(記事：ブルーマーリンス 末松勝祝、写真：井上優貴)



薄暗い中、試合開始。



一回裏今林(勇)選手のレフト前に二塁打を放つ。



二回裏、先制点のノロシをあげる実延(新)選手。



二回裏先制のレフト前三塁打！フェニックス太田選手。



二回裏、追加点のチャンスにフェニックス一番西藤選手。



三回裏、ダメ押し点なるか！今林(英)選手。



四回表、パイレーツ初ヒットの升井選手。



四回表、ナインに迎えられる升井選手。



勝利を導く先制点を挙げたフェニックス太田選手！！

第24週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第24週、11月24日は4試合が行われました。

青松園Aの塩浜ジャガーズ対奈多サンデーズ戦は、サンデーズ先発江口投手が5イニング打者22人に対し与四球2、エラーでの出塁3、被安打0の二年連続ノーヒットノーランを達成！オメデトウゴザイマス。ランナー

は出してもホームには返さない百戦錬磨の投球術が光りましたね。サンデーズは攻撃でも、荒口選手の満塁弾、秋山選手の3ランを含めた11安打で14点を奪い0-14で2年ぶり13回目のWSL制覇を達成。隔年で優勝しているサンデーズのジnkスは今年も守られた。

奈多グラウンド第1試合のレッドサンデーズ対新町ウインズ戦は、レッドが初回の二死満塁のチャンスを活かせずその裏エラーで失点すると、そこから悪い流れに。土師、嶋村、田中の三投手をつぎ込むも、被安打4ながらも11四死球では……。一方ウインズの藤田投手は寒さから万全ではないものの要所を抑え三安打2失点で2-10の勝利。ウインズ二番の安藤選手は小柄ながらそのスピードで今後のWSLを賑わせてくれそうだ。レッドの稲又選手はヒットエンドランを決め打点を挙げるなど今季の好調さが伺える。

奈多グラウンド第2試合の奈多クラブ対三苦三球会戦は、奈多クラブ今林瑠生投手の立ち上がりをうまく攻め右山選手のタイムリーで2点を先行した三球会が1点を追加し優位に試合を進めていたが、三球会吉留投手の疲れが見え始めた五回に奈多クラブ打線が牙を剥き逆転すると、今林瑠生投手が10奪三振を奪い4-3の逆転勝利。三球会は四球で塁を溜め、最も打たせてはならない奈多クラブ一番今林祐将選手と勝負しなければならなかったのが痛かった。普段そこで内野を集める場面があるはずだが、今回はその意識の統一が図る場面がなかった。逆にここぞの場面で必ず突破口を開く今林祐将選手の勝負強さにあっぱれ！

青松園Bの昨年のプレーオフを戦った新町パイレーツ対奈多フェニックス戦は、二回裏にフェニックス九番太田選手が2点タイムリー三塁打を放ち、自らもWPでホームインして3点を奪い優位に立つと、三回裏にも3安打を集めて2点を奪う。投げては今林勇太投手が10奪三振1失点の好投で、なんとかリベンジしたかったであろうパイレーツに1-5とフェニックスが去年に引き続いて勝利を収めた。

奇しくも昨年三つ巴から最終戦でライナーズに引き分け脱落したサンデーズが、そのプレーオフに出場したフェニックスとパイレーツが試合をする日に優勝を決めた。ここ数年プレーオフが続いていたがレギュラーシーズンで優勝が決まり、山本事務局長もとりあえずは一安心。残りは今年中に全日程が消化できるかだ。

昨年の開幕式で連覇を掲げ、惜しくもならなかった奈多サンデーズ田中監督が今年の開幕式で隔年での優勝を宣言し、見事達成。昨年までの田中・八島、前田、壱岐がレッドに、新たにレッドから若手（土田、鳥羽、川原、宮口）と新加入選手（秋山、大沼、吉留）で補強した新生奈多サンデーズはノーヒットノーランというおまけがついて11勝1敗1分の優勝という見事な幕引き。

次はH10～11年の奈多クラブ以来の連覇とH13年の奈多サンデーズが達成して以来の全勝優勝を狙ってほしい。